

3. 介護(介護予防)サービス受給者の状況

◆居宅介護(介護予防)サービス受給者数

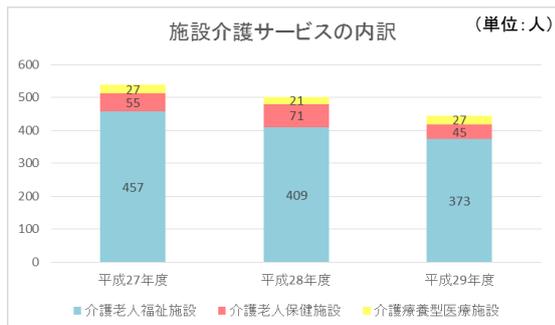
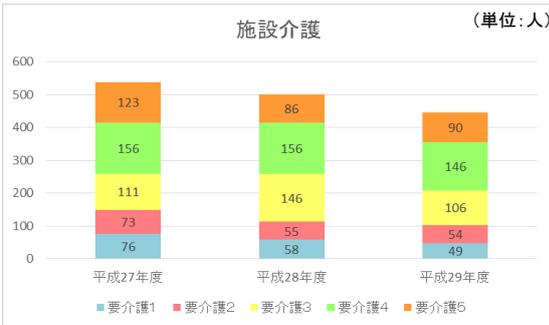
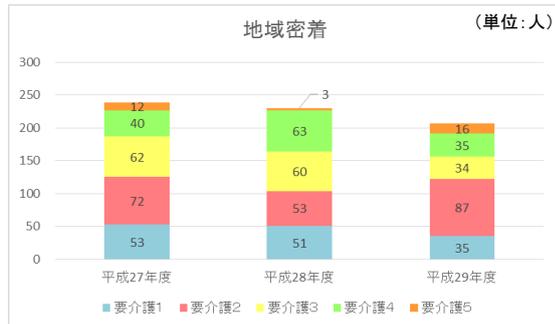
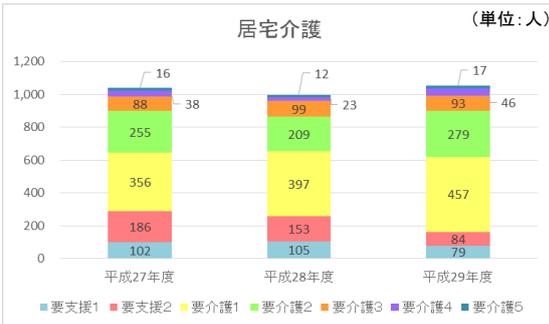
年度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
平成27年度	102	186	356	255	88	38	16	1,041
平成28年度	105	153	397	209	99	23	12	998
平成29年度	79	84	457	279	93	46	17	1,055

◆地域密着型(介護予防)サービス受給者数

年度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
平成27年度	0	0	53	72	62	40	12	239
平成28年度	0	0	51	53	60	63	3	230
平成29年度	0	0	35	87	34	35	16	207

◆施設介護サービス受給者数

年度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	
平成27年度	0	0	76	73	111	156	123	539	
	介護老人福祉施設	0	0	76	52	89	139	101	457
	介護老人保健施設	0	0	0	21	22	12	0	55
	介護療養型医療施設	0	0	0	0	0	5	22	27
平成28年度	0	0	58	55	146	156	86	501	
	介護老人福祉施設	0	0	58	22	120	144	65	409
	介護老人保健施設	0	0	0	33	26	12	0	71
	介護療養型医療施設	0	0	0	0	0	0	21	21
平成29年度	0	0	49	54	106	146	90	445	
	介護老人福祉施設	0	0	38	37	94	129	75	373
	介護老人保健施設	0	0	11	17	12	5	0	45
	介護療養型医療施設	0	0	0	0	0	12	15	27



★第6期における介護(介護予防)サービス受給者の状況★

- ・全体で見ると、平成28年度には受給者自体が減少し、平成29年になると地域密着型(介護予防)サービス・施設サービスの減少傾向はそのままだ、居宅(介護予防)サービスの利用が増加した。
- ・居宅介護(介護予防)サービスについては、認定者の増加に伴い、要介護1・要介護2の利用が増加している。
- ・地域密着型(介護予防)サービスについては、認知症対応型共同生活介護を利用していた人の資格喪失に伴い要介護3～5の利用が減少し、町外の特設施設に入所する人が増加し定期巡回・随時対応型訪問介護看護を利用するようになったことから、要介護1・2の利用が増加している。
- ・施設介護サービスについては、介護老人福祉施設、介護老人保健施設を利用していた人の資格喪失より、全体としての利用が減少している。